

【学校紹介】

「いのちの教育でんづくり」



岡山県立瀬戸南高等学校

1 本校の概要

本校は、大正15年組合立補習教育瀬戸実業学校として設立され、昭和24年岡山県立瀬戸高等学校、昭和28年に岡山県立瀬戸農業高等学校と改称、農業科・畜産科・園芸科の3学科が設立されました。昭和59年家政科設置に伴い、現在の岡山県立瀬戸南高等学校となり、平成4年に農業3学科を生物生産科、園芸科学科の2学科に再編され、平成15年に家政科を生活デザイン科に改編、創立82年目を迎え、「自然や生命の尊さを知り、個性・創造性あふれる心豊かな人間を育てる。」「時代や社会の変化に主体的に対応できる知識・技能を備えた人間を育てる。」を教育方針に取り組んでいる学校です。卒業生も一万人を超え、岡山市東部を中心に各方面において活躍しています。



2 本校の農業教育の基本方針

本校は農業に関する学科として生物生産科・園芸科学科の2学科を有します。「いのちの教育でんづくり」を教育スローガンに掲げ、作物・畜産・果樹・野菜・草花の5つの専門分野を設け、それぞれの特徴を活かしながら次の3つの柱のもと農業教育を進めています。

- (1) 農業のスペシャリストの育成
- (2) 「地域農業教育ファーム」
- (3) 循環型農業・環境保全型農業の実践

3 生物生産科における畜産教育

生物生産科では、1年次には、栽培（作物）と飼育（畜産）の両面で農業を学んでますが、2年次より栽培類型と畜産類型のいずれかを選択し専門的に勉強していきます。

畜産類型の学習では、肉用牛（黒毛和種）で、「1年1産を目指して、～制限哺乳による早期発情回帰～」に取り組み、岡山県和牛研究会で発表するなど高い評価を得ました。また、岡山県畜産共進会に4年連続出品し、一般農家の改良技術に追いつけ追い越せを合い言葉に日々の管理に取り組んでいます。

また、採卵鶏1,200羽を飼育し、卵の販売、スモークチキン・ローストチキンの製造やソーセージ作りなど、飼育から畜産加工、販売実習までを学習し幅広い職業観の育成に努力しています。

一方、学校設定科目「動物飼育」「動物科学」を設け、山羊・羊・うさぎなど愛玩動物の飼育について学習するとともに、ふれあい広場において、心音や動物の温かさを感じてもらいながら小学校・幼稚園・保育園・親子クラブなどと交流をすることで「地域農業教育ファーム」として、「こころ・いのち・食の教育」を推進しています。

また、循環型の農業を目指して「牛の敷料としてのシュレッターゴミの再利用」の取り組みや地域の環境保全を目指して、「山羊・羊を使つての河川敷の“舌”草刈り」など、環境に目を向けた活動もはじめました。以上、様々な取り組みを通して、将来地域に根付き地域を支える人材育成に今後も努力していきます。

瀬戸南 HPアドレス

<http://www.setomina.okayama-c.ed.jp/>

